

「もしかして、食物アレルギー？」 こんな時どうする??

～事例検討シート～

これから3つの食物アレルギーの事例をご紹介します。先生方には、「重症度とその理由」と「自分の出来る初期対応」について考えていただきます。事例の症状等をよく読んで、ご記入ください。

事例 1	小3 女子 「担任が第一発見者！」
小3女子 食物アレルギーの既往あり（エピペン・内服薬の処方あり） 昼食後の昼休み直前、教室で、おなかが痛い ^{きおう} と担任に訴えてきた。 トイレに行かせると、5分後くらいに戻ってきて「下痢をしていた」と言った。また、本人が「トイレに行ったら、なんか急に眼かゆくなってきた」と、目をこすっており、まぶたが腫れていた。 （トイレに行く前は特に変化はなし）教室は2階で、職員室・保健室はすぐその下の階にある。エピペン®はランドセルの中、内服薬は保健室に保管している	
重症度と その理由	緊急 ・ 受診 ・ 注意 (理由：)
自分の出来る 初期対応 (2つ程度)	<hr/> <hr/> <hr/>

事例 2	小1 女子 「頑張って食べたけど」
小1女子 食物アレルギー既往なし ^{きおう} 昼休みに、児童が腹痛を訴えてきた。その日の給食のメニューは、「ごはん・カシューナッツと鶏肉の炒め物・中華サラダ・わかめスープ」だった。 保健室に連れて行っただが、養護教諭が不在のため、熱を測ろうとすると、腕に蕁麻疹が出ていた。 話を聞くと、ナッツを食べた時に喉がイガイガしたが、完食を目指さなければと思い、頑張って全部食べた、とのだった。その後、1回嘔吐をした。 そのうちに「なんだかのどが苦しい・・・息が吸えない感じ。お腹もすごく痛くなってきた…」 と言い出した。	
重症度と その理由	緊急 ・ 受診 ・ 注意 (理由：)
自分の出来る 初期対応 (2つ程度)	<hr/> <hr/> <hr/>

事例3	小6 女子 「クラブ活動中に」
<p>小6女子 食物アレルギーの既往なし^{きおろ} 保健調査票に「花粉症」と記載あり 3月初旬のクラブ活動にて。</p> <p>本児は、所属している調理クラブで、家庭科室で、手作りパフェに、ウサギ型に切った生のリンゴをのせて、それを食べた。</p> <p>するとすぐに「口の中がイガイガする」と言い出した。「昨日も家でリンゴを食べたらこうなった。なんだか、のどもイガイガしてきた気がする」と言っている。外見上の変化は見られない。</p> <p>家庭科室には、もう一人クラブ担当の教員がいる。</p> <p>養護教諭は、出張で学校にいない。</p>	
重症度と その理由	<p>緊急 ・ 受診 ・ 注意</p> <p>(理由：)</p>
自分の出来る 初期対応 (2つ程度)	<hr/> <hr/> <hr/>

・・・※印刷する際は、これより下は消してから印刷してください※・・・

以下、予備の事例 学校の実態に合わせて事例を入れ替えてご使用ください。

事例4 小4男子「牛乳には触れてないはず」

小4男子 重度の牛乳アレルギー（エピペン®・内服薬の処方あり）

給食の時間、他の学級は牛乳を洗ってリサイクルしているが、本児がいる学級は、洗わずそのまま廃棄する処置をとっていた。

しかし、本児が流しで歯を磨いているときに、隣のクラスの牛乳系の児童が、勢いよく牛乳を洗ったバケツの水を流し、はねたものが本児の腕についた。

そのことに本児を含め誰も気づいていなかったが、掃除が始まる頃、担任に「よくわからないけど、腕がかゆい」と言ってやってきた。

腕には数個の蕁麻疹が出来ていた。本人は腕を気にはしつつも、元気でニコニコしている。

事例5 小5男子「5時間目の駅伝の練習」

小5男子 食物アレルギー既往なし^{きおろ}

給食、清掃の後、5時間目が体育で駅伝の練習をしていた。

本児はクラスメイトと一緒に校庭を走っていたが、途中で「先生、苦しい」と訴えてきた。顔を見ると、全体的にむくんでいるように腫れていて、唇は青白かった。咳が止まらず、かすれた声で

「先生、すごく苦しいです」と訴えて、苦しそうにうずくまってしまった。

校庭で、職員室・保健室から遠い場所にある。

事例6 小2男子「風邪かもしれない」

小2男子 食物アレルギー^{きあう}既往あり・(エピペン®・内服薬の処方あり)

5月GW明け、その日の給食は、「地粉うどん、ちくわのてんぷら、きんぴらごぼう、肉うどん汁」であった。給食後の昼休み、本児が「なんかちょっと気持ち悪い気がする。風邪気味なんだ。」と訴えてきた。

本児は1年生の時は、小麦除去の給食を食べていたが、解除になり、2年生の4月からはみんなと同じ給食を食べている。そのうち、くしゃみと鼻水が出はじめた。教室には、学校生活支援員がいる。

内服薬は保健室、エピペンはランドセルの中に入っている。

事例7 小1女子「胃腸炎かも…」

小1女子 食物アレルギー^{きあう}既往なし

給食中に、子供が嘔吐した。

その日の給食のメニューは、「ごはん・かき玉汁・アジフライ・きゅうりサラダ」だった。

「胃腸炎かも。気持ちが悪い」と言って、その後も1回嘔吐をした。

洋服が汚れてしまったので、保健室で着替えさせようとする、お腹や背中に蕁麻疹が出ていた。

事例8 小5女子「親切心だったのに」

小5女子 生卵の食物アレルギー。加熱すれば食べられるため、普段はみんなと同じ給食を食べている。家庭科の調理実習の際、本児は生卵のアレルギーのため、事前に保護者と「しっかりと過熱したスクランブルエッグを少量食べる」という取り決めがされていた。

班での調理が終わり、試食することになった。本児はスクランブルエッグをすぐに食べてしまった。その様子を見た班の子が、「私の少しあげる」と言って、自分のスクランブルエッグを分けてあげた。本児は喜んで食べた後、少し生かもしれない、と気づき、担任に申し出た。

食べてしまったことで、本児はパニックを起こし、泣いている。見た目の変化はないが、「おなかが痛い気がする」と泣きながら訴えている。

事例9 中2男子「お弁当の後」

中2男子 食物アレルギー^{きおう}既往なし

休日、午後の部活でランニングをしていた生徒が、「顔がかゆい」と言ってきました。見ると、顔が赤く、腫れぼったい。

走るのをやめさせ、話を聞くと、先週の午後の部活の時も同じように顔がかゆくなったが、少しだったので言わなかったとのこと。先週も、今日も、お弁当の中身には、おにぎり、たまごやき、エビフライが入っていたとのこと。経過を観察していると、顔の赤みが広がり、まぶたも腫れてきた。

目もかゆがり、鼻水も出始めた。